



INNO
VATION 30

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社ミマキエンジニアリング（証券コード：6638）東証プライム市場

2025年8月7日

2026年3月期 連結業績

1. 第1四半期 実績

2. 上期・通期予想

NEW



UJV300DTF-75

「UJV300DTF-75」で採用のUV-DTFとは、専用のフィルムにプリントしたデザインを対象の素材に転写する加飾方式です。従来のUVプリントでは難しかった、凹凸や曲面のある素材の表面にも、簡単に加飾ができる製品です。

売上高

19,413百万円

前年同期比 △2.0%

営業利益

1,934百万円

前年同期比 △5.8%
営業利益率 10.0%

経常利益

1,835百万円

前年同期比 △6.0%
経常利益率 9.5%

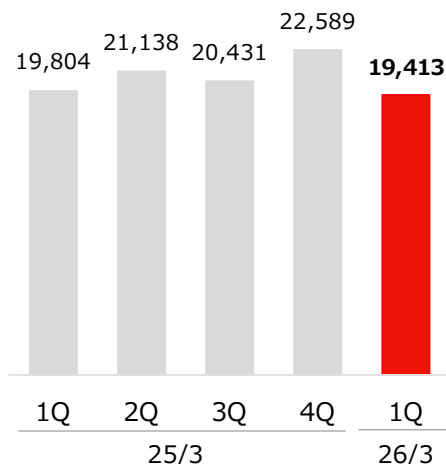
四半期純利益*

1,321百万円

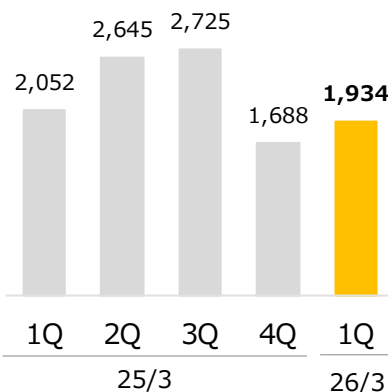
前年同期比 △10.9%
四半期純利益率 6.8%

*親会社株主に帰属する四半期純利益

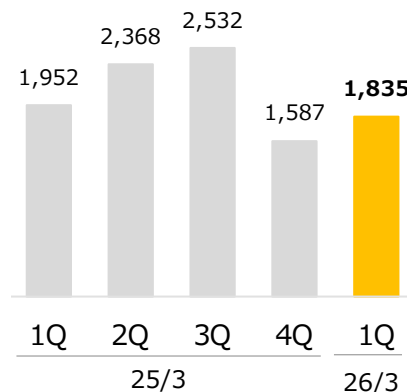
売上高



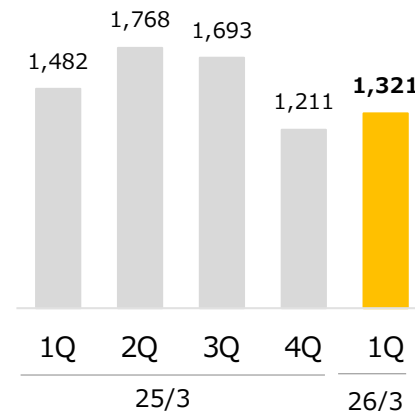
営業利益



経常利益



四半期純利益 *



連結業績ハイライト② (2026年3月期 1Q実績)



2025年3月期				2026年3月期				
(単位：百万円)		1Q実績	構成比	1Q実績	%	増減	率	率（除為替）
売上高		19,804	－	19,413	－	-390	-2.0%	+2.5%
営業利益		2,052	10.4%	1,934	10.0%	-118	-5.8%	+13.9%
経常利益		1,952	9.9%	1,835	9.5%	-116	-6.0%	－
四半期純利益*		1,482	7.5%	1,321	6.8%	-161	-10.9%	－
為替レート (期中平均)	米ドル	155.89円	－	144.60円	－	-11.29円	-7.2%	－
	ユーロ	167.88円	－	163.81円	－	-4.07円	-2.4%	－

*親会社株主に帰属する四半期純利益

- 売上高は、前年同期比 390百万円の減収（-2.0%、内為替影響 -884百万円）、予想比若干の下振れも為替影響を除くと2.5%の増
製品市場別では、前期から継続して好調のSG市場向けのエコソルベントモデルが牽引するも、IP市場向けの小型FB（フラットベッド）モデルの減少や
TA市場向けのDTF*モデルは、市場環境の変化や需要の足踏みが見られ大幅な減少、FAは大幅な増加
- 営業利益は、前年同期比 -118百万円の減益（-5.8%、内為替影響 -403百万円）、為替のマイナス影響があったものの原価低減活動の継
続が奏功し、売上原価率の改善効果により営業利益率は10.0%。販管費は、人件費・研究開発費が増加するも、効率的な費用執行により抑制
- 1Q末バランスシート・・・重点指標CCC*は、在庫の増加により2025年3月末比で増加
(2024.3末：4.51月 →2025.3末：4.28月 →25.6末：4.96月)

*DTF：Direct To Film

*CCC：Cash Conversion Cycle

営業利益増減要因 (25/3期 1Q vs 26/3期 1Q)



■ 売上・原価・営業利益への為替影響

売上高 -884 - 売上原価 -238 - 販管費 -243 = 営業利益 -403

【通貨別影響額】

USD /	155.89円	→	144.60円	-200
EUR /	167.88円	→	163.81円	-72
CNY /	21.48円	→	19.99円	+46
BRL /	29.89円	→	25.53円	-60
TRY /	4.82円	→	3.73円	-39
その他 (AUD、INR等)				-76
			合計	-403

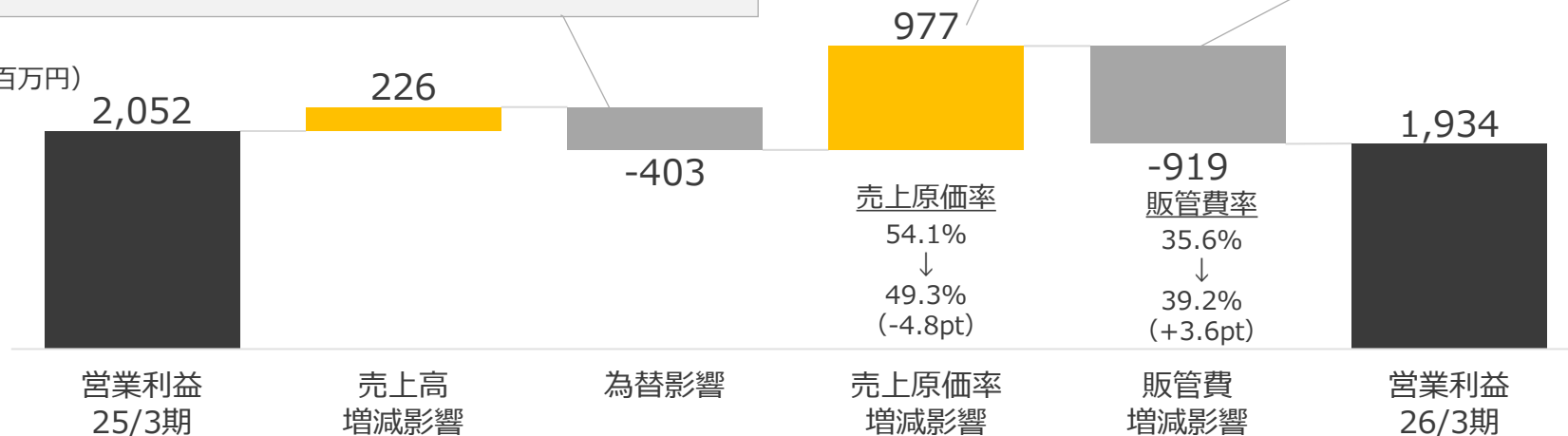
【売上原価率増減要因】

インクの品質改善等の原価
低減活動の効果により売
上原価率は大幅に改善

【販管費増減の要因】

人件費	+376
研究開発費	+161
消耗品費	+52
保険料	+45
旅費交通費	+41
その他	+244
合計	+919

(単位：百万円)



-118百万円

市場別売上高（2026年3月期 1Q実績）



(単位：百万円)	2025年3月期		2026年3月期				
	1Q実績	構成比	1Q実績	増減	率	率（除為替）	構成比
■ S G市場向け	8,219	41.5%	8,207	-12	-0.1%	+5.2%	42.3%
■ I P市場向け	4,995	25.2%	4,809	-186	-3.7%	+0.5%	24.8%
■ T A市場向け	2,860	14.4%	2,138	-722	-25.3%	-20.9%	11.0%
■ F A事業	591	3.0%	1,028	+436	+73.7%	+75.5%	5.3%
■ その他	3,135	15.8%	3,229	+93	+3.0%	—	16.6%
合 計	19,804	100.0%	19,413	-390	-2.0%	+2.5%	100.0%

- SG市場向け : エコソルベントモデルが前期より好調を維持、高生産のUVフラグシップモデルも好調とプリンタ本体の販売は増加。インクは若干の減少など全体では前年並み（為替影響を除くと5.2%増）
- IP市場向け : インクの販売が堅調に推移、プリンタ本体の大型FBモデルの販売は堅調も、小型FBの従来モデルの販売が伸び悩み減収（為替影響を除くと0.5%増）
- TA市場向け : プリンタ本体は、昇華転写モデルや環境配慮型のダイレクト捺染ハイブリットモデルが好調もDTFモデルの販売は市場環境の変化や需要の足踏みが見られ大幅に減少、インクの販売は前年並みを維持するも大幅な減収（為替影響を除くと20.9%減）
- FA事業 : FA装置や半導体製造装置の販売が大幅に伸長し大幅増収

エリア別売上高（2026年3月期 1Q実績）



2025年3月期			2026年3月期			
(単位：百万円)	1Q実績	構成比	1Q実績	増減	率	構成比
■ 日本	4,638	23.4%	5,357	+718	+15.5%	27.6%
■ 北米	4,643	23.4%	4,125	-517	-11.2%	21.2%
(現地通貨/ \$)	29.7M	－	28.5M	-1.2M	-4.2%	－
■ 欧州	4,755	24.0%	4,294	-461	-9.7%	22.1%
(現地通貨/€)	28.3M	－	26.1M	-2.1M	-7.5%	－
■ アジア・オセアニア	3,525	17.8%	3,448	-77	-2.2%	17.8%
■ その他	2,241	11.3%	2,188	-52	-2.4%	11.3%
合 計	19,804	100.0%	19,413	-390	-2.0%	100.0%

- 日本： TAのプリンタ本体は、環境配慮型のダイレクト捺染ハイブリットモデルの立ち上がりの好調により大幅増収となるも、SG・IPの販売は減少。FA事業は、FA装置や半導体製造装置の販売が好調により、大幅増収。全体では大幅増収
- 北米： TAのDTFモデルの販売が大幅減少、SG・IPも本体は大幅に減少。インクの販売は、TAのDTFモデルの稼働台数増加により大幅に伸長も全体では前年並み。北米全体では大幅減収（為替影響を除くと4.2%減）
- 欧州： SGは好調に推移、IPの販売は大幅減少。TAの販売は大幅減少。全体では減収（為替影響を除くと7.5%減）
- A・O： IPは本体販売が好調、インク販売も大幅に伸長。SGは高生産のフラッグシップモデルが好調。TAは本体・インクともに大幅な減少。全体では減収（為替影響を除くと3.8%増）

2026年3月期 連結業績

1. 第1四半期 実績

2. 上期・通期予想

NEW



JV200-160 / -130

2024年秋の発売以来その圧倒的に美しい印刷品質とエントリクラストップレベルの生産性により、お客様から高い評価をいただいた「CJV200シリーズ」。CJV200の画質・生産性と手軽に高画質を得られる操作性をより多くのお客様に実感して頂くために、プリント専用モデルとして「JV200-160/-130」がラインナップに追加されました。

連結業績予想ハイライト（2026年3月期）



■ 前回予想（5月13日公表）より変更なし

2025年3月期

2026年3月期

(単位：百万円)	通期実績	構成比	上期予想	前回予想比 増減（額）	下期予想	前回予想比 増減（額）	通期予想	構成比	前回予想比 増減（額）	前期比増減		
										額	率	率（除為替）
売上高	83,963	－	41,400	± 0	47,200	± 0	88,600	－	± 0	+4,636	+5.5%	+11.3%
営業利益	9,111	10.9%	4,050	± 0	5,150	± 0	9,200	10.4%	± 0	+88	+1.0%	+31.6%
経常利益	8,441	10.1%	3,600	± 0	4,800	± 0	8,400	9.5%	± 0	-41	-0.5%	－
当期期純利益*	6,156	7.3%	2,600	± 0	3,300	± 0	5,900	6.7%	± 0	-256	-4.2%	－
為替レート 米ドル	152.57円	－	139.80円	+4.80円	135.00円	± 0.00円	137.40円	－	+2.40円	-15.17円	-9.9%	－
(期中平均) ユーロ	163.74円	－	157.91円	+5.91円	152.00円	± 0.00円	154.95円	－	+2.95円	-8.79円	-5.4%	－

*親会社株主に帰属する当期純利益

連結業績予想の前提

- 上期・通期業績予想は据え置き（期初計画から変更なし）
- 売上高・・・グローバルでの市場環境等に大きな変化はないと見通すも、米国の関税政策の動向により景気下押しの懸念や各国金融政策の動向、地政学的リスクの増大など依然不透明な要素は多い。買い替え需要をはじめ既存製品の販売拡大と新製品の投入を進める
- 営業利益・・・成長投資として人件費や研究開発費等の投資は継続。売上原価の前提及び販管費の執行は、期初計画から変更なし
- 2Q以降の為替レートの前提：USD:135円/EUR:152円（期初計画から変更なし）

営業利益増減要因 (25/3期 実績 vs 26/3期 予想)



■ 売上・原価・営業利益への為替影響

売上高 -4,824 - 売上原価 -980 - 販管費 -1,050 = 営業利益-2,793

【通貨別影響額】

USD／	152.57円	→	137.40円	-1,408
EUR／	163.74円	→	154.95円	-802
CNY／	21.10円	→	20.75円	+40
BRL／	27.26円	→	24.76円	-180
INR／	1.81円	→	1.67円	-104
その他 (TRY、AUD等)				-338
合計				-2,793

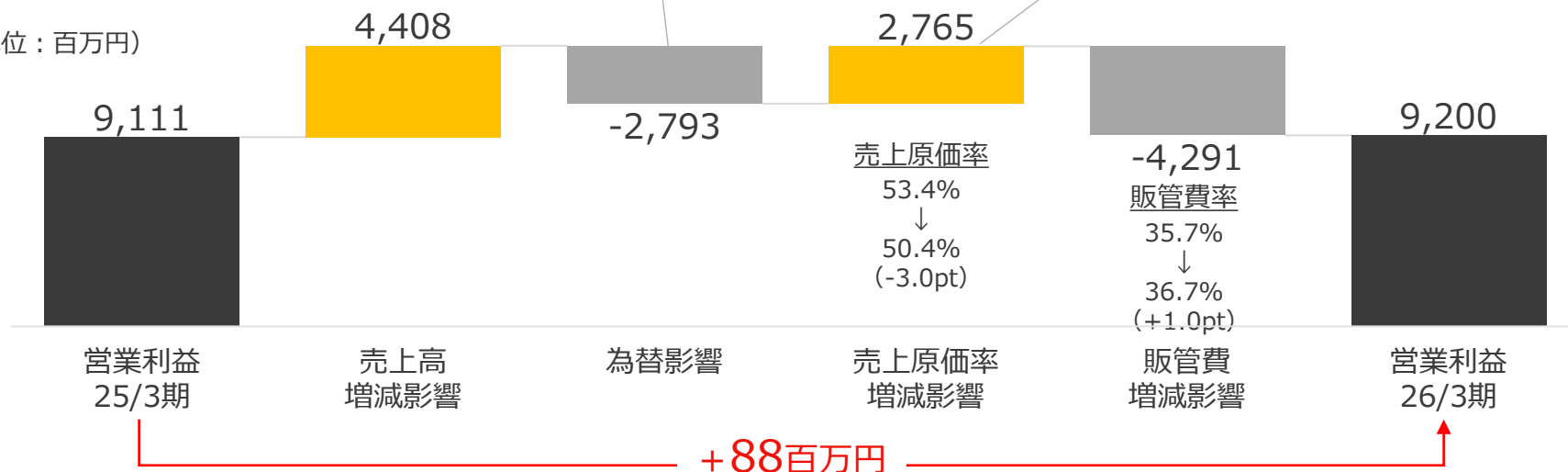
為替感応度 (1円/年)

	売上高	営業利益
USD	176	92
EUR	134	91

【売上原価率増減要因】

引き続きインクの品質改善とコストダウン等の原価低減活動に取り組むことで原価改善を見込む

(単位：百万円)



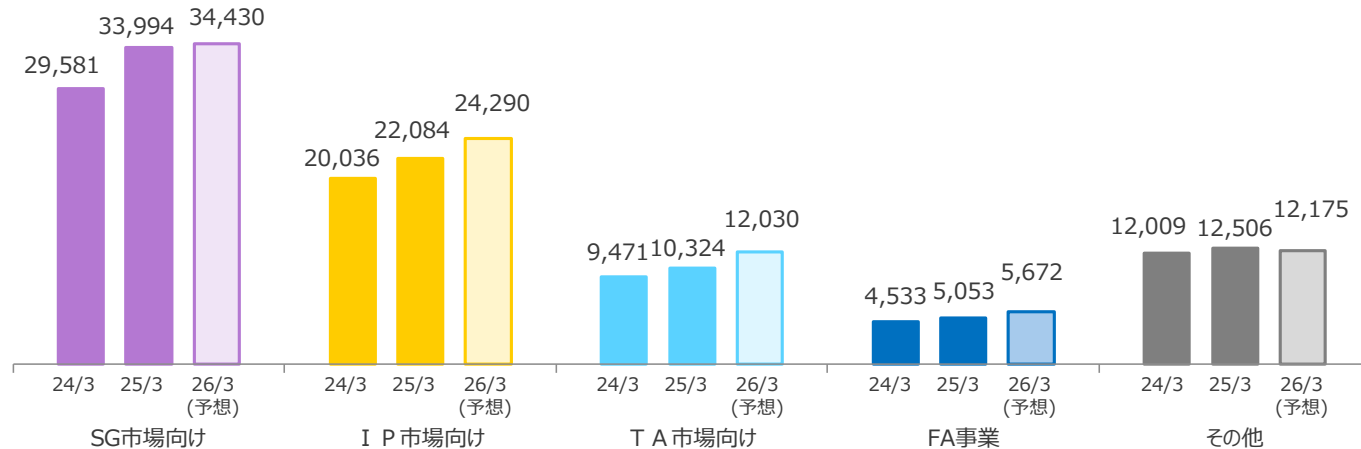
+88百万円

市場別売上高予想 (2026年3月期)

2025年3月期

2026年3月期

(単位：百万円)	通期実績	構成比	上期予想	前回予想比 増減(額)	下期予想	前回予想比 増減(額)	通期予想	前回予想比 増減(額)	前期比増減			構成比
									額	率	率(除為替)	
■ S G市場向け	33,994	40.5%	16,211	± 0	18,219	± 0	34,430	± 0	+436	+1.3%	+8.2%	38.9%
■ I P市場向け	22,084	26.3%	11,458	± 0	12,832	± 0	24,290	± 0	+2,206	+10.0%	+15.2%	27.4%
■ T A市場向け	10,324	12.3%	5,610	± 0	6,419	± 0	12,030	± 0	+1,706	+16.5%	+25.1%	13.6%
■ F A事業	5,053	6.0%	2,007	± 0	3,664	± 0	5,672	± 0	+618	+12.2%	+12.2%	6.4%
■ その他	12,506	14.9%	6,112	± 0	6,063	± 0	12,175	± 0	-331	-2.6%	—	13.7%
合 計	83,963	100.0%	41,400	± 0	47,200	± 0	88,600	± 0	+4,636	+5.5%	+11.3%	100.0%

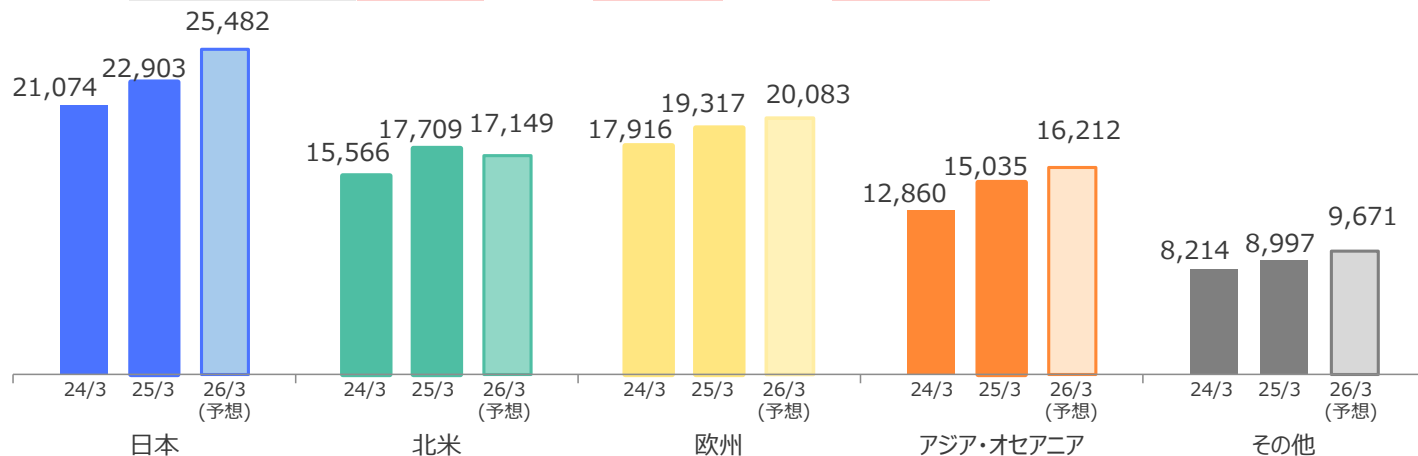


エリア別売上高予想 (2026年3月期)

2025年3月期

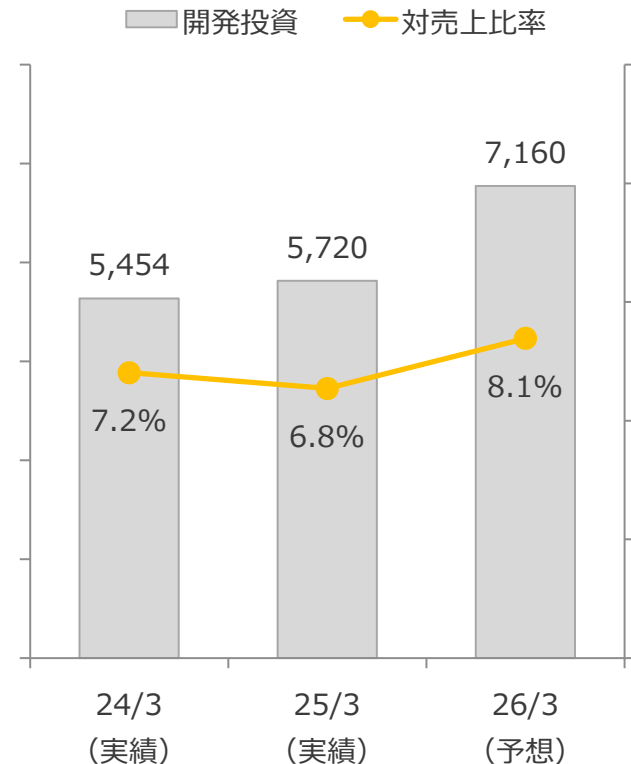
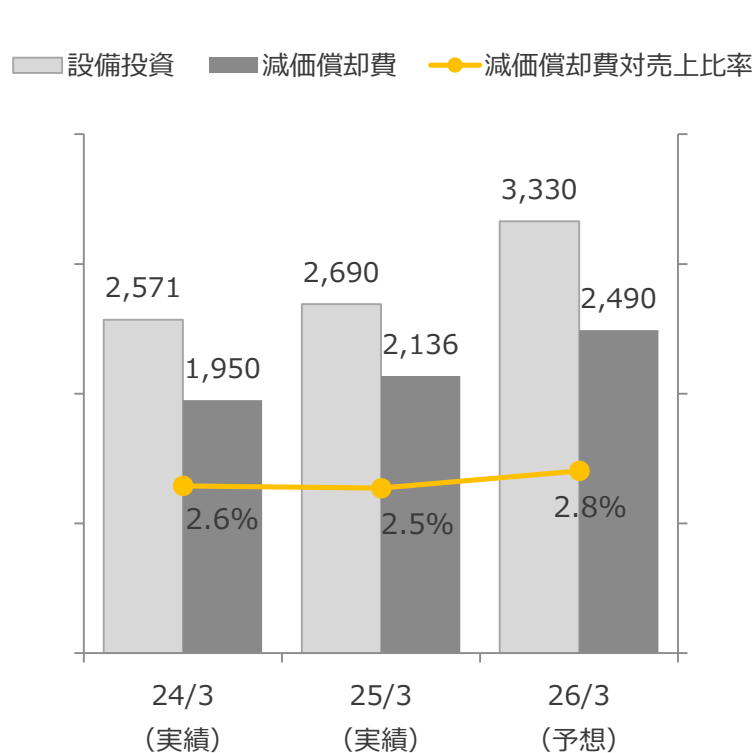
2026年3月期

(単位：百万円)	通期実績	構成比	上期予想	前回予想比 増減(額)	下期予想	前回予想比 増減(額)	通期予想	前回予想比 増減(額)	前期比増減		構成比
									額	率	
■ 日本	22,903	27.3%	11,524	± 0	13,957	± 0	25,482	± 0	+2,579	+11.3%	28.8%
■ 北米	17,709	21.1%	8,092	± 0	9,056	± 0	17,149	± 0	-560	-3.2%	19.4%
(現地通貨/\$)	116.3M	-	57.9M	-2.0M	67.0M	±0.0M	124.9M	-2.0M	+8.6M	+7.4%	-
■ 欧州	19,317	23.0%	9,404	± 0	10,678	± 0	20,083	± 0	+766	+4.0%	22.7%
(現地通貨/€)	118.0M	-	59.7M	-2.0M	70.2M	±0.0M	130.0M	-2.0M	+11.9M	+10.1%	-
■ アジア・オセアニア	15,035	17.9%	7,755	± 0	8,456	± 0	16,212	± 0	+1,176	+7.8%	18.3%
■ その他	8,997	10.7%	4,621	± 0	5,049	± 0	9,671	± 0	+673	+7.5%	10.9%
合計	83,963	100.0%	41,400	± 0	47,200	± 0	88,600	± 0	+4,636	+5.5%	100.0%



設備投資、減価償却、開発投資予想（2026年3月期）

（単位：百万円）

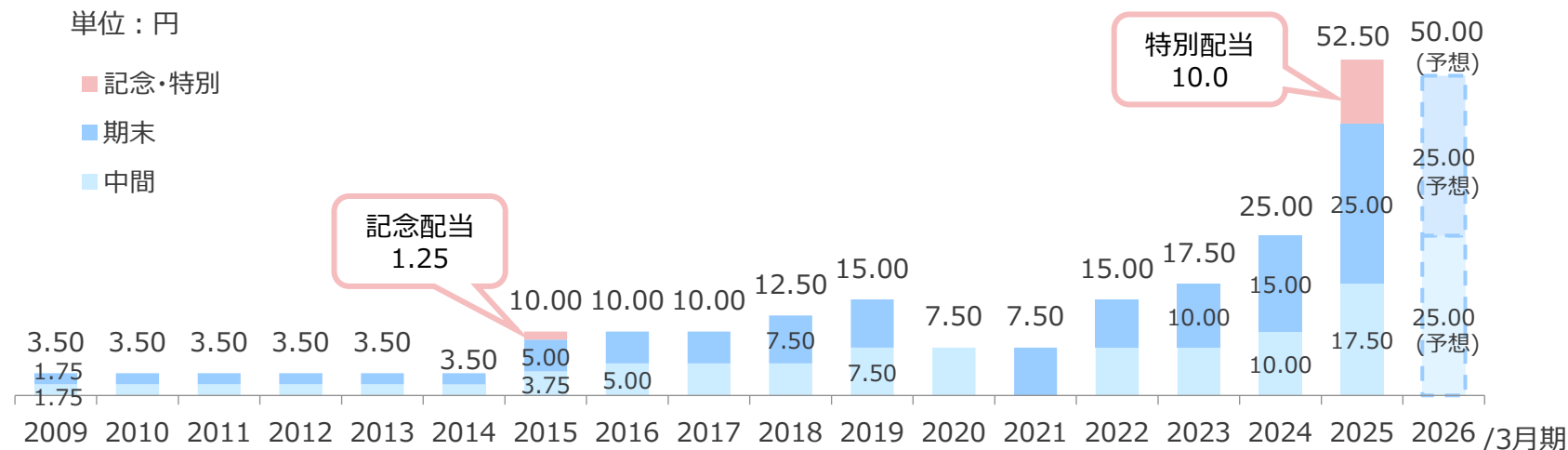


※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

株主還元の方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に
行っていくことを基本方針としています

- 2026年3月期（予想 変更なし） 中間：25.0円、 期末：25.0円
今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、**年50.0円**の予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は遡及修正して表示）



「お客様が儲ければミマキも儲かる」

ことをしっかりと考えて、

TEAM Mimaki として取り組む



本資料に関するお問合せ先

株式会社 ミマキエンジニアリング

I R 部

<https://ir.mimaki.com/>



〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。